

# 県民モニター「第4回アンケート調査」結果概要

## 1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「県民の防災意識及び取組状況」
- (2) 調査対象者：県民モニター1,463人（3月21日までの登録者）
- (3) 調査期間：平成20年3月13日(木)～3月25日(火)[13日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：638人（回答率43.6%）
- (6) 自由記入欄：9箇所設定（回答者の94%がいずれかに記載）

<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		1,463	638	43.6%
性別	男性	880	432	49.1%
	女性	583	206	35.3%
年代別	10～20代	107	23	21.5%
	30代	285	84	29.5%
	40代	261	94	36.0%
	50代	263	130	49.4%
	60代	403	250	62.0%
	70～80代	144	57	39.6%

## 2 調査結果の概観

### (1) 県民のリスク認識

- ・居住する地域の災害に対する安全性の認識について、「まあ安全」(51.4%)と「安全」(9.4%)で6割を占める。その理由では、「地形や立地がよい」「対策がなされている」などの記載が多いが、「これまで被災したことがない」「何となく」といった合理的な根拠に基づかない記載も少なくない。
- ・防災に関する情報の入手先は、「テレビ、ラジオ」(73.4%)、「新聞」(63.3%)などマスコミとともに、「県・市町などの広報誌やホームページ」(59.7%)、「ひょうご防災ネット」(24.0%)など、行政の広報媒体も活用されていることがうかがえる。

### (2) 自助の課題への取組

- ・「S56年以前(新耐震基準適用前)に建築の木造住宅」に住んでいると答えた方(23.8%)に、耐震診断又は補強の実施状況を聞いたところ、「耐震診断又は補強をしている」は約2割(17.1%)に止まるものの、「していないが、できればしたい」が4割台半ば(45.4%)を占める。また、家具等の固定(転倒防止)についても、「している」は2割(20.4%)に止まるものの、「していないが、できればしたい」が6割(59.9%)を占める。どちらも必要性は認識しているが、実際の行動に結びついていないことがうかがえる。
- ・災害に備えて、飲料水や食料品を備蓄している方の割合は、4割台半ば(45.5%)であり、そのうち、災害時に望ましいされる3日以上を備蓄している割合は、飲料水(48.5%)、食料品(53.2%)ともに5割程度に止まっている。

### (3) 共助の課題への取組

- ・地域の防災訓練への参加については、実際に「参加したことがある」が3割弱(27.7%)に止まるが、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」(65.7%)を併せると9割(93.4%)を超え、訓練参加への意識が非常に高いことがうかがえる。

### (4) 防災力強化県民運動

- ・平成19年度から県民運動を展開している「防災力強化県民運動」の認知度については「内容も含め知っている」(11.0%)と「見聞きしたことがある」(27.4%)を併せて4割弱となっており、更なる周知を図っていく必要がある。

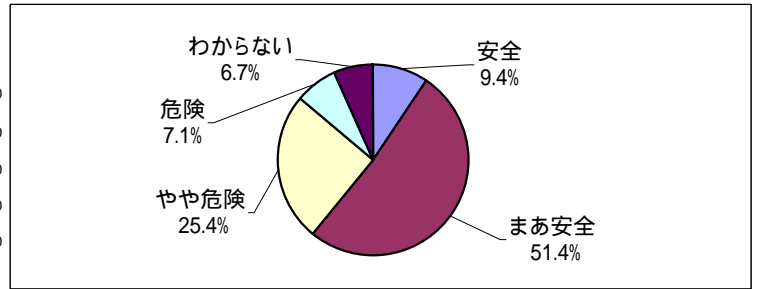
アンケート結果は、本県の防災・減災対策の推進及び「防災力強化県民運動」を展開していくうえで参考にする。

### 3 調査結果

#### (1) 県民のリスク認識

Q1 住んでいる地域は、災害に対して安全だと思うか (1つ選択)

- |           |       |
|-----------|-------|
| (1) 安全    | 9.4%  |
| (2) まあ安全  | 51.4% |
| (3) やや危険  | 25.4% |
| (4) 危険    | 7.1%  |
| (5) わからない | 6.7%  |



安全と思う理由 (安全、まあ安全を選択)

- ・高台にあるなど地形や立地がよい
- ・建物が新しいなど対策がなされている
- ・阪神・淡路大震災で無事だった

- |      |              |        |
|------|--------------|--------|
| 163件 | ・これまで被災していない | 50件    |
| 75件  | ・何となく        | 18件 など |
| 65件  |              |        |

危険と思う理由 (危険、やや危険を選択)

- ・地盤が軟弱であるなど立地がよくない
- ・対策ができていない
- ・被災経験がある

- |        |
|--------|
| 133件   |
| 21件    |
| 17件 など |

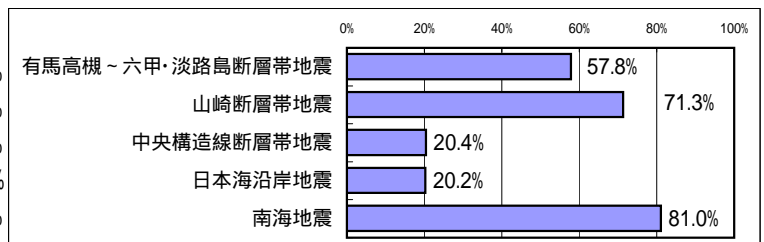
わからない理由 (わからないを選択)

- ・予測がつかない
- ・知識、情報不足

- |       |
|-------|
| 12件   |
| 8件 など |

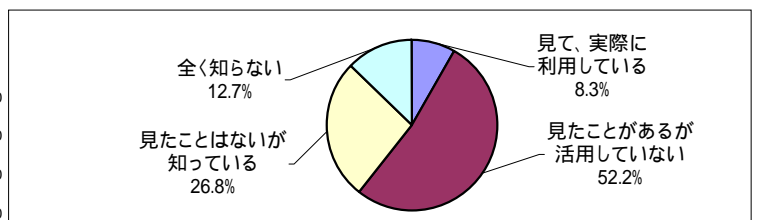
Q2 大きな被害が想定される地震名を聞いた事があるか (いくつでも選択)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| (1) 有馬高槻～六甲・淡路島断層帯地震 | 57.8% |
| (2) 山崎断層帯地震          | 71.3% |
| (3) 中央構造線断層帯地震       | 20.4% |
| (4) 日本海沿岸地震          | 20.2% |
| (5) 南海地震             | 81.0% |



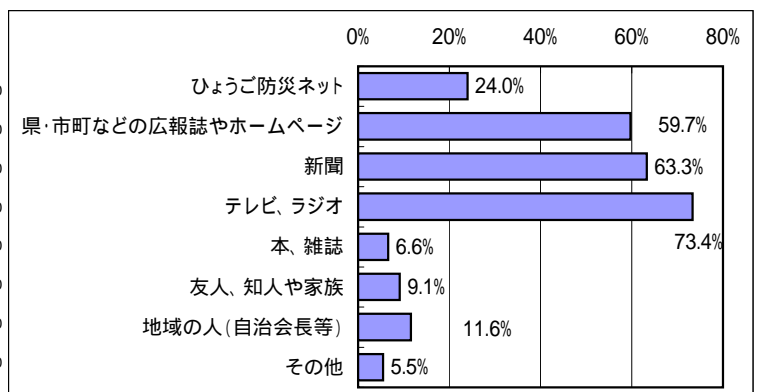
Q3 ハザードマップを見たことがあるか (1つ選択)

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| (1) 見て、実際に利用している    | 8.3%  |
| (2) 見たことがあるが活用していない | 52.2% |
| (3) 見たことはないが知っている   | 26.8% |
| (4) 全く知らない          | 12.7% |



Q4 防災に関する情報をどこから入手しているか (いくつでも選択)

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| (1) ひょうご防災ネット         | 24.0% |
| (2) 県・市町などの広報誌やホームページ | 59.7% |
| (3) 新聞                | 63.3% |
| (4) テレビ、ラジオ           | 73.4% |
| (5) 本、雑誌              | 6.6%  |
| (6) 友人、知人や家族          | 9.1%  |
| (7) 地域の人(自治会長等)       | 11.6% |
| (8) その他               | 5.5%  |



「その他」の具体的な内容

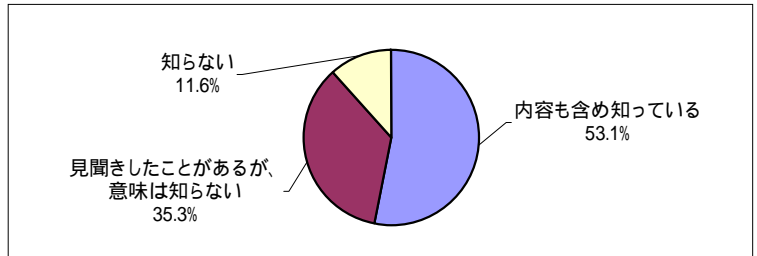
- ・インターネット
- ・消防団などの活動を通じて

- |       |
|-------|
| 22件   |
| 8件 など |

Q 5 「緊急地震速報」を知っているか

(1つ選択)

- (1) 内容も含め知っている 53.1%
- (2) 見聞きしたことがあるが、意味は知らない 35.3%
- (3) 知らない 11.6%

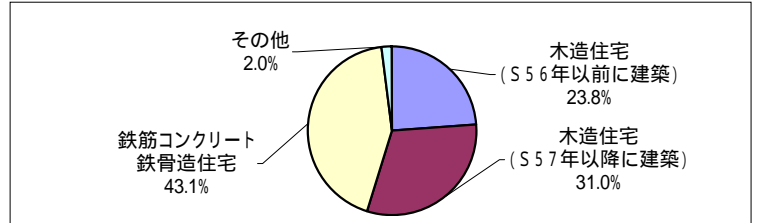


(2) 自助の課題への取組

Q 6 あなたの住宅はどれに該当するか

(1つ選択)

- (1) 木造住宅(S56年以前に建築) 23.8%
- (2) 木造住宅(S57年以降に建築) 31.0%
- (3) 鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅 43.1%
- (4) その他 2.0%

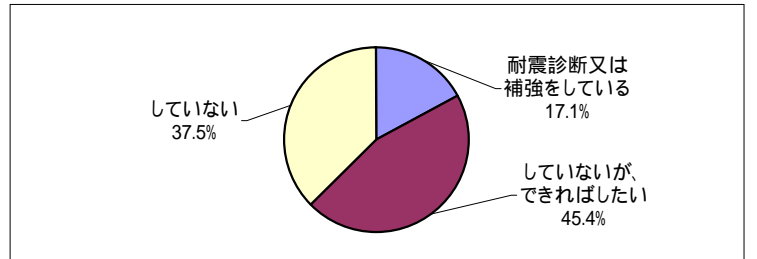


[Q6で(1)の選択者(152人)に対し]

Q6-2 耐震診断又は補強をしたか

(1つ選択)

- (1) 耐震診断又は補強をしている 17.1%
- (2) していないが、できればしたい 45.4%
- (3) していない 37.5%



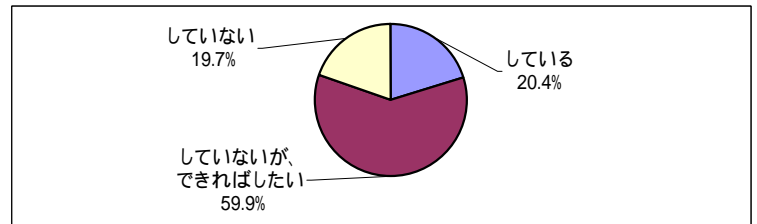
していない理由[(3)回答者]

- ・費用がかかる
- ・新築、建て替えを予定している

25件  
9件 など

Q 7 家具等の固定(転倒防止)をしているか(1つ選択)

- (1) している 20.4%
- (2) していないが、できればしたい 59.9%
- (3) していない 19.7%



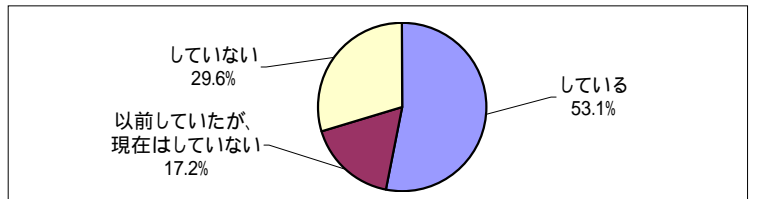
していない理由[(3)回答者]

- ・寝室には家具を置かないなど家具の配置に配慮している 36件
- ・特に倒れないと思っている 34件 など

Q 8 消火器を設置しているか

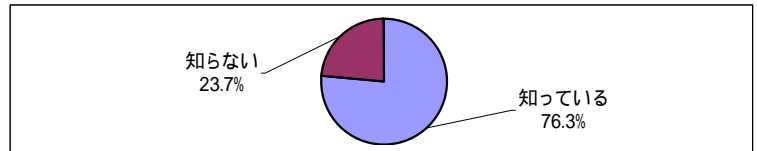
(1つ選択)

- (1) している 53.1%
- (2) 以前していたが、現在はしていない 17.2%
- (3) していない 29.6%



Q 9 住宅用火災警報器の設置義務化を知っているか(1つ選択)

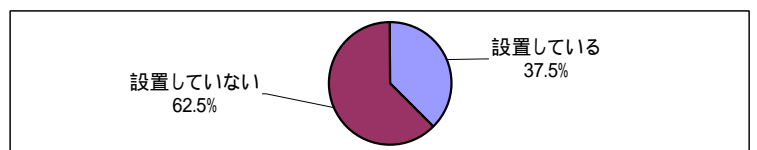
- (1) 知っている 76.3%
- (2) 知らない 23.7%



Q10 住宅用火災警報器を設置しているか

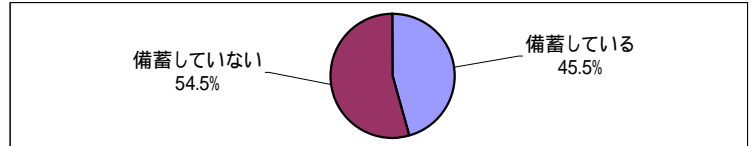
(1つ選択)

- (1) 設置している 37.5%
- (2) 設置していない 62.5%



Q11 災害に備えて、飲料水や食料品を  
備蓄しているか（1つ選択）

- (1) 備蓄している 45.5%
- (2) 備蓄していない 54.5%



備蓄していない理由

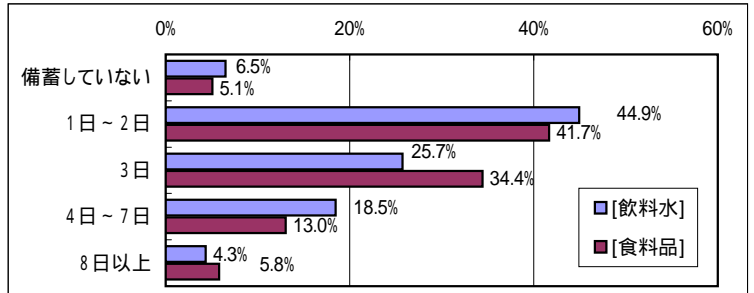
- ・継続が困難又は面倒である 4 4 件
- ・災害が起こるといいう危機感が薄い 3 7 件 など

[Q11で(1)の選択者(290名)に対し]

付問 家族全員で何日分あるか。

(飲料水と食料品について日数をそれぞれ記入)

	[飲料水]	[食料品]
(1) 水と食料のどちらかを 備蓄していない	6.5%	5.1%
(2) 1日～2日	44.9%	41.7%
(3) 3日	25.7%	34.4%
(4) 4日～7日	18.5%	13.0%
(5) 8日以上	4.3%	5.8%
・ 3日分以上	48.5%	53.2%

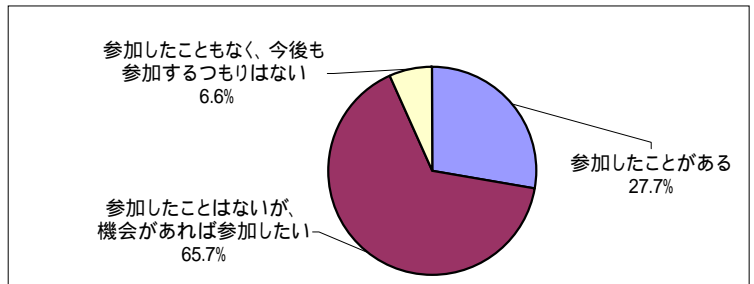


無回答14件あり

(3) 共助の課題への取組

Q12 1年以内に地域の防災訓練に参加  
したことがあるか（1つ選択）

- (1) 参加したことがある 27.7%
- (2) 参加したことはないが、  
機会があれば参加したい 65.7%
- (3) 参加したこともなく、今後も  
参加するつもりはない 6.6%



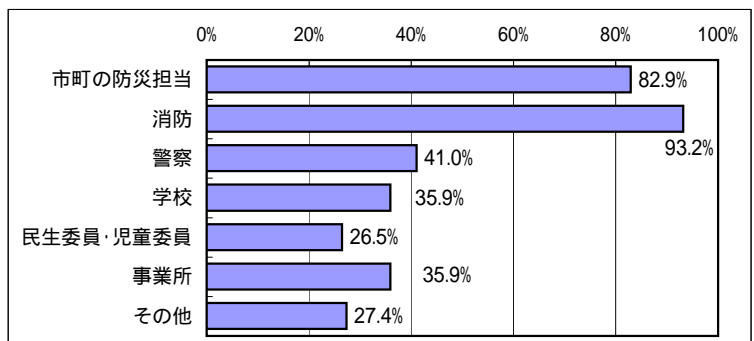
参加するつもりのない理由 [(3)回答者]

- ・訓練と実際とでは異なるため、必要性に疑問がある 8 件
- ・実施していることを知らない 7 件 など

[Q12で(1)の選択者(177人)に対し]

Q12-2 防災訓練で、一緒に参加して  
もらいたい部署（いくつでも選択）

(1) 市町の防災担当	82.9%
(2) 消防	93.2%
(3) 警察	41.0%
(4) 学校	35.9%
(5) 民生委員・児童委員	26.5%
(6) 事業所	35.9%
(7) その他	27.4%



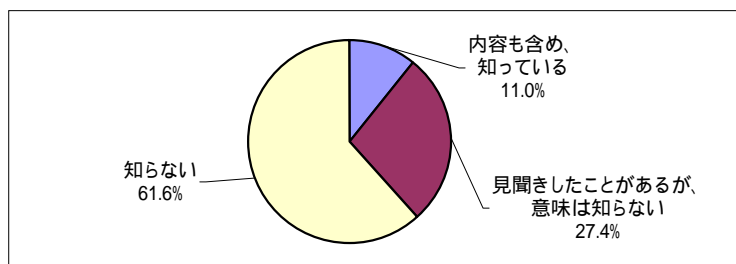
「その他」の具体的な内容

- ・転入者を含めた近隣住民 7 件
- ・自治会 4 件 など

(4) 防災力強化県民運動

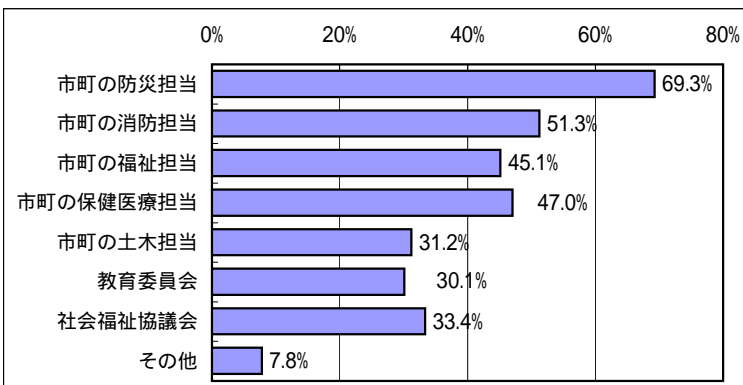
Q13 「防災力強化県民運動」を知っているか (1つ選択)

- (1) 内容も含め、知っている 11.0%
- (2) 見聞きしたことがあるが、意味は知らない 27.4%
- (3) 知らない 61.6%



Q14 地域の防災力を高めるため、行政のどの分野の参加協力が必要か (いくつでも選択)

- (1) 市町の防災担当 69.3%
- (2) 市町の消防担当 51.3%
- (3) 市町の福祉担当 45.1%
- (4) 市町の保健医療担当 47.0%
- (5) 市町の土木担当 31.2%
- (6) 教育委員会 30.1%
- (7) 社会福祉協議会 33.4%
- (8) その他 7.8%



「その他」の具体的な内容

- ・近隣住民や自治会 16件
- ・行政間連携の推進 7件 など

Qその他 防災全般についての意見、提案 (自由記入)

1 回答者の41.8%にあたる267人が記載した

2 記載内容 (延364項目) の主なものは以下のとおり

- ・PRの推進など情報発信の強化 53件
- ・防災意識の高揚 51件
- ・家庭や地域での取り組みの充実 35件
- ・近隣との交流や連携の推進 28件
- ・防災知識の蓄積 28件
- ・高齢者など災害弱者対策の強化 24件
- ・防災施設、設備、機器の普及 18件
- ・防災訓練の充実 16件
- ・県など行政機関に期待 13件
- ・防災マップやハンドブックの発行、配布 11件
- ・住民と行政の連携強化 10件 など

[ 問い合わせ先 ]

企画県民部知事室広聴室 (TEL078-362-3021)